

美しい瀬戸内海を平和と安全な海にするための申し入れ

1月15日、大竹市阿多田島沖で起きた、海上自衛艦「おおすみ」とプレジャーボート「とびおう」の衝突事故は重大事故として全国に報道され私たち広島県民、広島市民にも大きな衝撃を与えました。

改めて私たちの目の前の海で起きたこの悲しい事故で亡くなられた方々と、ご遺族の皆様にも心からお悔やみを申し上げます。

同時に、今回の事故を踏まえて改めて行政として考えられるあらゆる手だてをとって美しい瀬戸内海が多くの人にとって将来に渡ってこのような事故が起こらない平和で、安全な海となるために、対策をとって戴くことを強く申し入れるものです。

風光明媚でおだやかな気候に恵まれた瀬戸内海は、古より多くの文化と産業を育んできた豊かな海でもあります。

また、県民、市民にとっては、かけがえのない心のふるさとであり、憩いの場でもあります。

多くの島々と本土を結ぶフェリーや自動車・重化学工業地帯を結ぶ輸送船、牡蠣漁をはじめとした漁船や遊漁船、県民・市民のプレジャーボートなど多くの船舶が行き交って地域に活力をもたらしています。「全国一のプレジャーボート数」に示されているように、瀬戸内海は広島県民・広島市民にとって、かけがえのない憩いの場であり「宝の海」です。

ところが近年、瀬戸内海で船舶事故が多発しており、なかでもこの海域を日常的に航行している自衛艦の存在がその危険度を一層高めています。

今回の事故は、そうした中で起きました。県民の憩いの海に「そのけ、そのけ自衛艦が通る」という現状は、いわば「通学路を大型ダンプカーが走る」ようなものです。

美しい瀬戸内海が今後も多くの県民・市民にとって平和で安全な海になるように行政としてあらゆる対策をとって戴くことを切望し、当面、今回の事故を踏まえて以下の点を要望いたします。

1. 防衛省・海上自衛隊をはじめ、関係諸機関に今回の事故に関わる速やかな情報提供を求めるとともに、瀬戸内海の平和と安全を守るため航行の安全に万全を期することを改めて強く申し入れること
2. 今回の事故の原因究明とは別に、事故でなくなられた方々のご遺族や関係者の方々に二度とこのような悲しい事故を起さないためにも関係自治体として哀悼の意を表明し、物心両面の支援をされること。